

# 議 事 概 要

目 的	第1回尾鷲市総合計画審議会 部会協議
-----	--------------------

日 時	平成28年6月3日(金) 20:00~21:00
-----	--------------------------

場 所	本庁3階 会議室
-----	----------

部 会 名	第3部会
-------	------

内 容	<p>○出席者 委員：佐々木 康次・塚原 右巳 市：木のまち推進課 内山課長 水産商工食のまち課 野地課長・民部課長補佐兼観光交流係長・三鬼水産振興係長兼水産商工基盤整備係 市長公室 山本主査</p> <p>○主な協議等内容 ・部会長 佐々木 康次 氏 ・次回開催日 平成28年7月5日(火) 19時～ ・質疑応答 以下のとおり</p> <p>委員 事業が進んでいないのに、見直しというのは、早くないか。</p> <p>野地課長 これから組み立てていくことも含めて、考えていくことも含まれる。</p> <p>山本主査 39の施策全体で総合評価を進めたため、項目によっては齟齬がでてくる場合もある。</p> <p>委員 市民アンケート、立場によって意識が違う。商業ならば分かる部分もあると思うが、農林水産分野については、市民の人は分からないのではないか。</p> <p>野地課長 見直しとは、バージョンアップするという意味合いも含めている。</p> <p>委員 マイナスイメージではないことをしっかりと説明した方が良い。まちの駅ネットワーク尾鷲やスタンプ会の活動を評価してほしい。</p> <p>委員 総合計画の中で商業のことについて軽視されている感じがする。尾鷲よいとコスタンプ会、昨年の内 に5店舗減っている。人口減、高齢化により、向こう2～3年間のうち大きく衰退する可能性もある。 商業振興策がはかどっていない。第6次前期基本計画でも協議したが、不満がある。</p>
-----	---

野地課長

商工観光の分野が一括りとなっている。商業振興策が「特出し」とはなっていない。

委員

計画全体として、「協働」が具体化していない。

山本主査

現行の前期計画では、優先順位は、取り組みの記載順に高いこととなっている。市と市民の役割を明確化している。後期の見直しの中で議論をお願いしたい。

委員

尾鷲まるごとヤーヤ便については、行政と民間との協働で取り組めており、結果も出ている。

野地課長

商業と観光を両にらみでやっていく方向でいる。まちの駅や食のまちづくりも同じ。それぞれの活動について、今後の方針を考えていきたい。

委員

バルイベント、一つの突破口になると思う。特色のある「尾鷲の食」をPRすべきであるが、事業所がその気にならなければ、盛り上がってこない。

野地課長

「食のまちづくり」については、地方創生予算で今年度も取り組んで行く。ご指摘の通り、次世代の人たちと協働して、取り組んで行かなければならない。

委員

団体であれ事業者であれ、単独では取り組みを進めることは難しい。各団体が横の連携を取ってやらなければならない。

野地課長

まちなかへの誘客が商業振興に繋がっていくことになると考えている。市と民間との役割分担や連携が必要。

委員

今のままでは、各団体が弱体化していく。早急に各団体のネットワーク強化が必要。

委員

商工会議所青年部、以前は120人くらいいた。今は40人程度で、実際に活動しているのは10人程しかいないように感じる。自分の商売を守ることで精いっぱいになっている。

委員

バルの実行メンバーも高齢化している。

山本主査

事業承継の問題は全国的に課題となっている。各地の取り組みの中で、家族ではない後継者をマッチング・育成し、事業を承継するという取り組みも報告されている。

委員

会議所もその取り組みを行う方向で考えているが、実績がない。

委員

若い就業者が残るには、仕事がないとどうしようもない。収入面での待遇も重要。

委員

費用や具体的な事業内容が分からなければ、協議が難しいのではないか。

内山課長

実際に行っている事業が、基本計画では読み取れない、ということか。

山本主査

事業内容や予算については、部会の中において質問を頂ければ、各担当課が説明をさせてもらう。しかし、あくまでこの審議会においては、基本計画の審議がメインであるので、広い視点を持って協議いただきたい。次回、7月5日火曜日19時からの開催を予定とする。